

知って安心

あなたのくすりと健康

聞いて安心

第105号

- 「不正大麻・けし撲滅運動」の期間です。…神奈川県病院薬剤師会 賛助会員 久保田 貴子
- ステロイド薬の上手な使い方…大和市立病院 薬剤科 三田 恭平
- 骨粗しょう症の注射薬…IMSグループ 東戸塚記念病院 澤木 奈実子

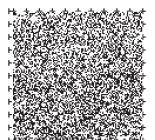


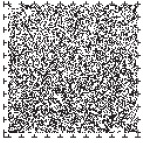
<表紙写真> くすり Get the Answers かながわ 推進委員会

厚生労働省・都道府県により、5月1日から6月30日まで「不正大麻・けし撲滅運動」が実施されています。

8月21日(日)の11:50～12:50に薬物依存に関する「市民公開講座」(入場無料)が開催されます(場所:パシフィコ横浜)。この機会に、ぜひご来場ください。

私たちは、市民の方々を対象に医薬品や健康に関する正しい知識の普及と啓発を目的とし、この小冊子を発行しています。小冊子には、音声コードが印刷されています。音声読みあげアプリ「Uni-Voice」と活字文書読みあげ装置の両方で使用できますので、ご活用いただければ幸いです。





「不正大麻・けし撲滅運動」の期間です。

毎年5月1日から6月30日、厚生労働省と都道府県では「不正大麻・けし撲滅運動」を全国で実施しています。これは、大麻やけしの不正栽培や薬物に起因する犯罪を防止するため、自生する大麻やけしの発見・除去や正しい知識の普及啓発を行っているものです。

この他にも薬物乱用防止の活動には、薬物乱用防止を図る目的の「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」、6月20日から7月19日の「ダメ。ゼッタイ。」普及運動、10月1日から11月30日の「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」などがあります。

「大麻」や麻薬の原料になる「植えてはいけないけし」の不正栽培や所持は禁止されています。「大麻」や「植えてはいけないけし」を見つけたときは、最寄りの警察署や保健所等にお知らせください。

「大麻」は、大麻草（カンナビス・サティバ・エル）及びその製品をいい、大麻取締法で規制されています。大麻草の成熟した茎や繊維等の製品や種子とその製品はこの規制の対象外とされ、許可を受けた農家や研究者以外は栽培が禁止されています。大麻に含まれるTHC（テトラヒドロカンナビノール）という成分に幻覚や記憶・学習能力への影響等の有害な作用があります。

大麻は「野菜」「くさ」、乾燥大麻は「マリファナ」「ガンジャ」、大麻樹脂は「ハシッシュ」「チョコ」の名で知られ、この他にも通称があります。

大麻を使うきっかけには、好奇心や「タバコより安全」という誤った知識、覚醒剤より嫌悪感がないことなどがあり、神奈川県内でも若年層を中心に検挙者が増加しており深刻化が進んでいます。

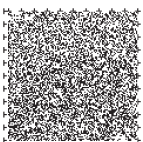
「けし」については、ヒナゲシ、オニゲシなどの「植えてよいけし」である園芸種とは異なり、麻薬の原料となるモルヒネを含む「植えてはいけないけし」があり、これについては「あへん法」により日本での栽培が規制されています。

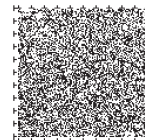
モルヒネなどの医療用麻薬はたいへん有用な医薬品ですが、医薬品を本来の医療目的から外れた用法・用量で使用することや、医療目的のない薬物を不正に使用することは薬物乱用です。一度だけでも乱用になります。乱用される薬物には、自分の意志ではどうしても薬物をやめられなくなる「依存」や、同じ量では効かなくなっていく「耐性」だけでなく、精神や身体にも悪影響があり、薬物を入手するために罪を犯すなどの怖さがあります。

乱用される薬物への正しい知識を持ち、これらの誘いを退けましょう。



神奈川県病院薬剤師会 賛助会員 久保田 貴子





ステロイド薬の上手な使い方

「ステロイド」という薬を一度は耳にされたことはあるでしょうか？ ステロイド薬はさまざまな疾患に用いられており、適切に使用することで優れた効果が期待できます。この薬を効果的かつ安全に使用していくためには、**医師から指示された用法・用量を守り、副作用に対しても正しい知識を持って対策していくことが大切です。**



● ステロイド薬とは？

私達の体の中にある副腎皮質という臓器から作られるホルモンの一つに副腎皮質ステロイドと呼ばれ、体を維持していくために大切なホルモンがあります。この体内で作られるステロイドを内因性ステロイドと呼び、この内因性ステロイドを基に化学的に合成されたステロイドを合成ステロイドと呼んでいます。一般的にこの合成ステロイドがステロイド薬として用いられています。主に抗炎症作用や過剰な免疫を抑える作用などを持ち、さまざまな疾患に対して広く使われています。

ステロイド薬の形態には飲み薬のほかに注射薬、塗り薬、吸入薬、点眼薬、点鼻薬などがあります。また、これらの薬は用いられる疾患の種類や病状の程度によって使用量や使用期間が大きく異なることが特徴です。

● 副作用についても知っておきましょう

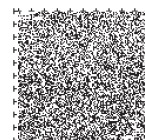
ステロイド薬によって起きる副作用の出方は薬の使用量、使用期間または用いられる薬の形態によっても異なります。一般的に、薬の使用量が少なく使用期間も短い場合には副作用の心配は少ないとされています。一方、使用する薬の量が多い場合や長期間使用する場合には注意をしていく必要があります。副作用症状はさまざまなものがあり、代表的なものとしては免疫機能の低下、胃粘膜障害、血糖値や血圧の上昇、不眠などの精神症状、骨粗しょう症などが知られています。副作用の症状や特徴を予め知っておき、可能な限り予防や対策を立てていくことが重要です。

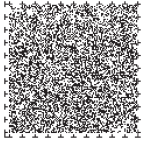
● 決められた用法・用量を守りましょう

症状が良くなったからといって自己判断で薬の量を調節したり、中断したりすることはとても危険です。特に長期間にわたりステロイド薬を使用しているような場合、外部から合成ステロイドを補給し続けていることで自分の体内で作ることができる内因性ステロイドの量が少なくなっています。このような状況でステロイド薬の使用を急に中止してしまうと、病状が悪化してしまう恐れがあります。

ステロイド薬を使用中に起きた体調の変化については主治医またはかかりつけの薬剤師にしっかりと伝えることが大切です。

大和市立病院 薬剤科 三田 恭平





骨粗しょう症の注射薬

骨粗しょう症とは、骨の量（骨量）が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。通院して定期的に注射の治療を受けられている方も多いのではないのでしょうか。

骨は変わらないように見えますが、新しく作られること（骨形成）と溶けて壊されること（骨吸収）を繰り返しています。このバランスが崩れ、骨吸収が盛んになることで骨粗しょう症が起こり、骨がスカスカになってきます。骨粗しょう症になると、主に背中・手首・太ももの付け根の骨が折れやすくなります。

骨粗しょう症は、最初は痛みがないと言われます。女性ホルモンの減少とも関わりが深いとされ、閉経後の女性に多く見られています。

骨粗しょう症の薬は、骨形成の促進・骨吸収の抑制によって効果を表します。下に、主な注射薬を一覧にしました。

成分名	主な商品名	投与間隔
アレンドロン酸	ボナロン	4週に1回
イバンドロン酸	ボンビバ	月1回
ゾレドロン酸	リクラスト	年1回
デノスマブ	プラリア	6か月に1回
ロモソズマブ	イベニティ	1か月に1回
テリパラチド	テリボン、フォルテオ	製剤により週1回、週2回、1日1回など異なる

成分により注射の間隔が異なります。また、通院せずに自分で注射できる製剤もあります。

骨粗しょう症と診断されたら、症状や生活スタイルに合った治療薬を選んでいきましょう。骨折をきっかけに、寝たきり生活になってしまうこともあります。骨の量を確認するために、まずは病院で骨密度を測定する検査を受けてみてください。

IMS（イムス）グループ 東戸塚記念病院 澤木 奈実子

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 GTA 委員会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

ホームページ <https://www.kshp.jp/>

